

那覇市は「性の多様性」を尊重します。

レインボーなは通信！

2016.1 vol.4

平成27(2015)年7月19日、那覇市は性的マイノリティ(ゲイ・レズビアン・バイセクシャル・トランスジェンダーなど、多様な性を生きる人々)とともに歩むべく『性の多様性を尊重する都市・なは』宣言(通称:レインボーなは宣言)を発表しました！

クラスに
2～3人！



昨年約7万人を対象に行われた調査の結果、性的マイノリティは人口の7.6%の割合で存在するという数字が発表されました(※1)。

7.6%といってもなかなかピンときませんが、これは13人に1人、という数字。例えば学校でいうと、30人学級なら**1クラスに2～3人**は性的マイノリティ当事者がいることになります。

※1 2015年 電通ダイバーシティラボ

生きづらさ、6倍…

私たちが当事者の存在を実感しにくい理由のひとつとして、根強い偏見があります。話しても大丈夫だと感じられる環境が確保されていないために、彼らはあえて名乗らず、ひっそりと隠れた存在になってしまうことが少なくないのです。

調査では、15～24歳のゲイ・バイセクシャル男性の65%は自殺を考えたことがあり、そのうちの15%は実際に未遂の経験があったと報告されています(※2)。こうした自殺の危険率は、異性を愛する人に比べて**約6倍**も高いことが指摘されています。

※2 2001年『我が国における都会の若者の自殺未遂割合とその関連要因に関する研究』日高庸晴ほか



あなたにもできること。尊重！

同性を愛する気持ちが分からなかったり、からだの性とは別に「こころの性」があることに戸惑う人もいるかも知れません。しかし、こうしたことを自分の感覚として理解する必要はないのです。私たちは、他者を自分とは異なるものとして互いに認め合い、尊重することができます。

「多様性の尊重」、これは私たちみんなにとって新しい試みです。

私たちは、普段さまざまな常識やルールの中で生きています。なので、こうしたことにとらわれず「ありのままに生きていい社会」を、実は私たちはまだ誰も知らないのではないのでしょうか。失敗を恐れず、これからみんなで一緒に探していきましょう。



レインボー交流会にいらっしゃいませんか。

レインボー交流会は、誰もが参加できる性の多様性について語り合う会です。次回の開催は、**2月20日(土)14～16時**@なは女性センター！申込み不要・途中退室可！

ご意見をお寄せください！メール: S-HEIDAN001@neo.city.naha.okinawa.jp

平和交流・男女参画課 なは女性センター TEL:951-3203 FAX:951-3204



なは女性センター
facebook





「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言

(レインボーなは宣言)

人がどのような性を生きるか、また、誰を愛し・愛さないかは、すべての人が幸福に生きるために生まれながらにして持っている権利、すなわち人権であり、誰もがその多様な生き方を尊重されなければなりません。

那覇市は、市民と協働し、性自認及び性的指向など、性に関するあらゆる差別や偏見をなくし、誰もが安心して暮らせる都市をめざして、ここに『性の多様性を尊重する都市・なは』を宣言します。

平成27年7月19日

那覇市